

| 2.2 清水山の地すべり（位置 No.①,③,⑤,⑧） |   |
|-----------------------------|---|
| 発生年月日                       | 文亀元年（1502）  |
| 発生地点                        | 長野県小谷村大字中土清水山   |
| 緯度・経度                       | 36.8263, 137.9181   |
| 発生誘因                        | 不明（越後南西部地震（M=6.5～7.0））  |
| 天然ダムの形成                     | 有・無   |
| 被害状況                        | 人的被害：不明、家屋被害：不明   |
| 災害概要                        | <p>清水山では、古くは養老二年（718）から地すべりの記録が残されており、以来、融雪期・豪雪時に慢性的に変動を繰り返しています。文亀元年（1502）には、清水山地区の中屋敷下から地すべりが発生しました。押し出した土砂は中谷川を堰止め、天然ダムが形成されました。神宮寺は清水山の度重なる地すべりのため何度か移転を余儀なくされており、文亀元年の地すべりで被災し、現在地（宮ノ上）に移転しています。</p> |



位置図

国土地理院「標準地図」に加筆

### ◎ 繰り返す地すべり災害

清水山地すべりの規模は、延長 2,000m、幅 400～500m、面積 137ha におよび、地すべり地特有の緩やかな地形のなかに小尾根部が島状に取り残されています（写真 2.2）。

地すべり地の西方約 1.5km を南北方向に姫川が北流しており、その支川中谷川の右岸側山腹に地すべりが発生しています。中谷川流域は、長野県内でも有数の地すべり地帯で、清水山の地すべり以外にも多くの地すべり防止区域が指定され、過去、度々災害が発生してきました。

清水山の最も古い地すべりの記録は、養老二年（718）に清水山の上部三峯山の山腹より地すべりが起こり、神宮寺が移転したという記録が残っています。また、康和元年（1099）にも大規

模な地すべりが発生し、諏訪神社が移転、神社杉が埋没したと言われており、当時ツンブリとヌマノヒラの間は平であったとの記録も残されていません（記念誌編集委員会，1992）。

高橋義彦（1971）『越佐史料』によれば、文亀元年十二月十日（1502.1.28）には、越後南西部地震（M=6.5～7.0）が発生し、「越後ノ地大二震フ、死者多し、・・・大雪ふりて日ごろ積りぬ。この國の人だにかかる雪にはあはず」と記されています。府中（上越市直江津付近）では地震と豪雪で大変だったようです。文亀元～二年（1502）の地すべりは、越後南西部地震後の融雪期に発生したのでしょうか。

その他にも、昭和9年（1934）、昭和36年（1961）に地すべりが発生し、中谷川を堰止めています（記念誌編集委員会，1992）。

近年では、平成7年（1995）の豪雨災害において、地すべりが発生し（写真2.3）、地すべりの移動土塊は、下流中の沢の砂防堰堤まで達しました。

次頁の地形図には、文亀元年（1502）の地すべりで形成された天然ダムの最大想定湛水範囲を示しています。中谷西まで湛水した場合、湛水の深さは約60m、湛水面積は約62万㎡、湛水量は約1,200万㎡と推定されます。また、望月（1974）による清水山地すべりのブロック区分も次の図2.4に示します。

Iブロック：中谷川支川の中の沢沿いに南北に伸びるブロック(本地すべり地の主流)

IIブロック：地すべり地の最上部で東方からIブロックの側面に移動するブロック

IIIブロック：IIブロックの南方にあり北東から南西へ向って滑落しIブロックに合流するブロック

IVブロック：清水山部落と中屋敷部落の間にあり、上部はIブロックと平行して南北方向にのび、下流はNNE-SSW方向となって中の沢に合流するブロック

Vブロック：中の沢の小支川土橋沢の沿岸及びその谷頭部に発生しているブロック

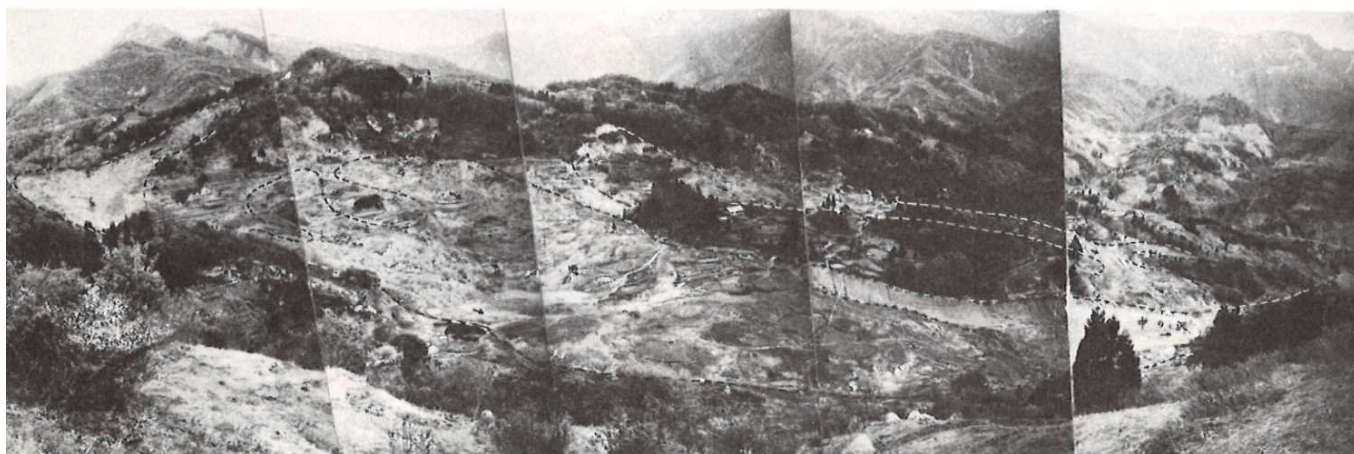


写真2.2 清水山地すべり、Iブロック上流部、II・IIIブロック及びIVブロックの状況（1968年、望月撮影）  
（望月，1982）



写真2.3 平成7年（1995）清水山地すべり斜面状況（Iブロック）

（長野県土木部砂防課・長野県姫川砂防事務所，1996）



図 2.4 清水山地すべりブロック区分図と文亀元年(1502)の天然ダムの想定湛水域(地理院地図に加筆)

## 2.1 清水山の地すべり（位置 No.①,③,⑤,⑱）

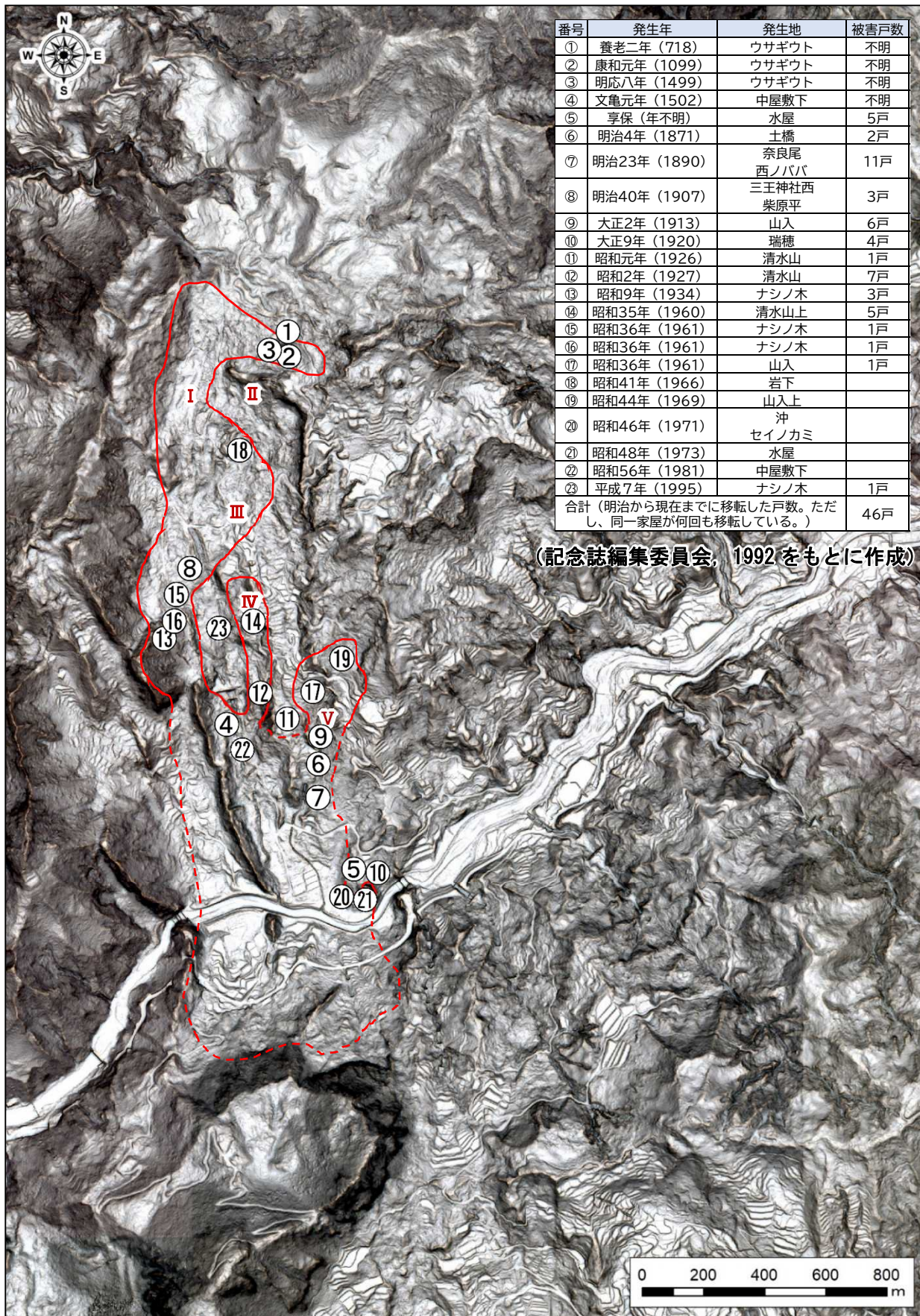


図 2.5 清水山地すべりの微地形解析図によるブロック区分図